

## 早めの気づきがより良い支援の第一歩

気になることはありませんか？

- 友だちがなかなかできない。
- ごっこあそびやルールのある遊びが苦手。
- いろいろ気が散って落ち着かない。
- 一人で遊ぶことが多い。
- 話を最後まで聞かずに行動する。
- 人の嫌がる事をして、トラブルになる。
- 順番が守れない。
- 人混みや大きな音・光などの刺激が苦手。
- 落ち着いて座ってられない。
- 整理、整とんがうまくできない。 など

悩むより、早めの相談を

まずは相談

保護者から担任（園長）先生へ  
⇒ 園長(担任)から相談機関へ  
⇒ **相談員**がうかがいます

お子さんのことを教えてください

- これまでの成長の様子
- 家庭での様子（家族とのかかわり・身の回りのこと）
- 保育園、幼稚園、認定こども園、療育機関等の様子（友だちとのかかわり、指示理解、発語、集団生活等）
- 病院等での診断の状況
- 発達検査結果や所持手帳等

必要な支援は？

学校生活を送る上で、  
お子さんにとって  
• どのような支援（内容）が  
• どのくらい（程度・量）  
必要なのでしょう？

相談機関は最後をご覧ください

実現するには？

- 就学先は？
- 適切な学びの場は？
- お子さんにとって、  
どこで、だれと、どのように  
学ぶのがよいか相談しましょう。



就学先(学びの場)は  
どうやって決めるの？

→次のページへ

# 就学先（学びの場）を決める大事な3つのポイント

## その①

### お子さんの学校生活をイメージしましょう

- 毎日充実し、楽しい時間を過ごせるかな？
- 授業の内容が分かるかな？
- 学習活動に参加している実感、達成感がもてるかな？
- 生きる力（自分で考え、自ら行動する力）を身につけられるかな？



## その②

### 学校（学級）見学・体験学習をしましょう

お子さんにとって、必要な支援が適切に行われるには

- 「通常の学級」がっているのかな？
- 「特別支援学級」がっているのかな？
- 「特別支援学校」がっているのかな？

⇒ **多様な学びの場**

※詳細は次のページ参照

□学校での支援の形や内容は、学校の規模・地域や学校の状況によってちがいます。早い段階から、学校見学や体験入学をし、お子さんが安心して学べる場をさがしましょう。

## その③

### 千曲市教育支援委員会がサポートします

#### 委員

- 校長会・教頭会・園長会の代表者
- 稲荷山医療福祉センター(医師・MSW)
- 学識経験者(大学)
- 小学校、中学校の特コ(※)
- 学校心理士、公認心理師等専門家
- 通級指導教室担当者(ことば・LD等)
- 千曲市教育委員会、センター代表者
- 千曲市教育相談員、SSW

※特別支援教育コーディネーター

#### 調査員

- 市内小中学校特別支援学級担任
- 稲荷山養護学校教諭
- 通級指導教室(ことば・LD等)担任

○お子さんの担当になり、面接・懇談・検査等を行い、委員会に報告書を提出します。

#### 事務局

千曲市教育委員会  
千曲市総合教育センター

### 就学先の決定（11月～12月）

- 就学先決定には、保護者(本人)の考えや気持ちを最大限尊重します。
- 上記①～③の様子をふまえ、千曲市教育委員会が最終決定をします。

# 多様な学びの場

**通常の学級**（1学級35名まで・担任1名）

- 学習形態・・・担任による一斉指導（基本）
- 各学校・・・特別支援教育コーディネーター（特コ）配置  
特コを中心に「校内支援委員会」で「個に応じた必要な支援」の話し合い。
- 支援の形・・・合理的配慮、特別支援教育支援員の配置、複数の先生による授業（TT）等。
- 全ての学級で、ユニバーサルデザイン化(\*)を意識した環境設定や授業作り。

(※全員が楽しく「わかる・できる」授業への改善策)

**通級指導教室**

- 対象・・・通常学級に在籍している「言語障害、自閉症、情緒障害、弱視、難聴、学習障害、注意欠陥多動性障害」等の児童生徒。
- 学習形態・・・各教科の指導は通常学級で行い、個々の障がいの状態に応じた特別な指導。  
(自立活動、各教科の支援指導 等)
- 指導の場・・・通級指導教室又は学校訪問指導。
- 指導方法・・・月に1～4回程度の個別(小集団)指導。
- 通学・・・保護者の付き添い必要。
- 出欠席・・・出席扱い。



**特別支援学級**（1学級8名まで・担任1名）

**□知的障がい学級**

- 学習・・・下の学年や特別支援学校（知的障害）の学習内容に替えて行うことが可。
- お子さんに適した学習内容に替えることができ、日常生活に即した必要感のある学習が可。
- 自立活動・・・学習（生活）の困難の改善、克服を目的とした学習。特設または学校生活全体で行う。

**□自閉症・情緒障がい学級**

- 学習・・・原則として当該学年の学習内容。必要に応じ、下学年の目標や内容に替えることが可。
- 自立活動・・・学習（生活）の困難の改善、克服を目的とした学習。

**□肢体不自由、難聴の特別支援学級はありません。**

**千曲市にある通級指導教室**

**ことばの教室 屋代小（坂城小）**

- 発音が気になる。
- 発音に誤りがある。
- 話すときつかえる(吃音)。
- 同じ音を繰り返す。

等の困難さを抱えるお子さんのための教室

**LD 等通級指導教室 戸倉小・戸倉上山田中**

- 計算だけが苦手等、特定のものが苦手。
- コミュニケーションがうまくとれない。
- 感情のコントロールがうまくいかない。
- 場面の切り替えが苦手。
- 集団に入りにくい。

等の困難さを抱えるお子さんのための教室



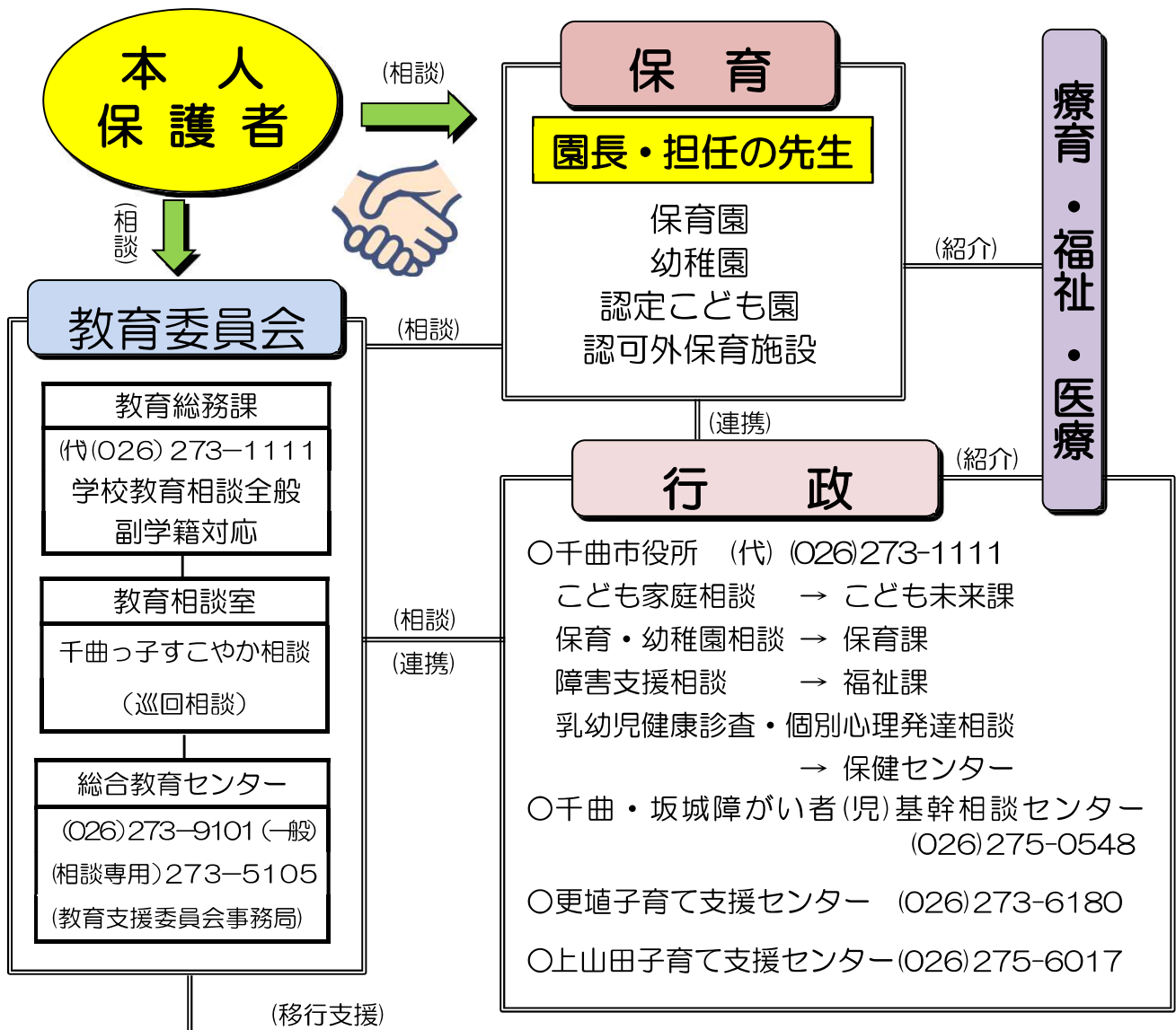
**特別支援学校（稲荷山養護学校）**

- 肢体不自由があり、歩行や筆記等日常生活における基本的動作が不可能又は困難なお子さん。
- 上記の状態の程度ではないが、常時医学的観察指導を必要とするお子さん。
- 知的発達が遅く、生活面（トイレ・食事・着替え等に多くの支援が必要）や行動・コミュニケーション面（集団が苦手、常に見守りが必要、意思疎通が困難等）で常時支援が必要なお子さん。

**学校の様子**

- 各部・・・訪問教育部、小学部(小学校相当)、中学部(中学校相当)、高等部(高等学校相当・入学試験有り)。  
(医療的ケアや訪問指導も行われています。高等部には、更級分教室が更級農業高等学校内にあります。)
- 児童生徒数・・・訪問教育部(4名)、小学部(105名)、中学部(93名)、高等部(104名)計302名(令和4年度)。
- 学習（内容）・・・「教科学習」「生活単元学習」「自立活動」「日常生活の指導」「あそびの指導」等。
- 通学・・・スクールバス、保護者送迎、公共交通機関利用等。市内外から通学。
- 寄宿舎・・・基本的生活習慣の確立や社会性の伸長を目指し、自立への意欲を高めます。
- 副学籍・・・居住地の小中学校にも籍を置き、交流及び共同学習ができます。

# 千曲市就学相談支援マップ



**教育委員会**

教育総務課  
 (代)026) 273-1111  
 学校教育相談全般  
 副学籍対応

教育相談室  
 千曲っ子すこやか相談  
 (巡回相談)

総合教育センター  
 (026)273-9101 (一般)  
 (相談専用)273-5105  
 (教育支援委員会事務局)

**保 育**

園長・担任の先生

保育園  
 幼稚園  
 認定こども園  
 認可外保育施設

**行 政**

○千曲市役所 (代) (026)273-1111  
 こども家庭相談 → こども未来課  
 保育・幼稚園相談 → 保育課  
 障害支援相談 → 福祉課  
 乳幼児健康診査・個別心理発達相談  
 → 保健センター

○千曲・坂城障がい者(児)基幹相談センター  
 (026)275-0548

○更埴子育て支援センター (026)273-6180

○上山田子育て支援センター(026)275-6017

療育・福祉・医療

## 学 校

小学校		中学校 (A~D 中学校区)	
上山田小	(026) 275-1100	A 戸倉上山田中	(026) 275-0069
戸倉小	(026) 275-0072	A (LD等通級)	(026) 275-0069
(LD等通級)	(026) 275-0072	B 埴生中	(026) 272-0015
更級小	(026) 275-0052	C 更埴西中	(026) 272-1515
五加小	(026) 275-0643	D 屋代中	(026) 272-0276
埴生小	(026) 272-0158	<b>特別支援学校</b>	
八幡小	(026) 272-1209	全県(北信)	千曲市 稲荷山養護 (026) 272-2068
治田小	(026) 272-1054		長野市 長野盲 (026) 243-7789
屋代小	(026) 272-0037		長野市 長野ろう (026) 241-5320
(ことば通級)	(026) 274-1948		長野市 若槻養護 (026) 295-5060
東小	(026) 272-2217	信大附属 (026) 241-1177	